

入 選

家ぞくがふえたよ

三年 袴田咲良

七月十九日、しゅうぎょう式の後におじいちゃんと妹とハムスターをかいに行きました。そのこに決めたわけは水をのんでいてかわいかったからです。ほかのハムスターは、ねていました。

ハムスターをかった理由は、わたしが動物がすきでかってみたかったからです。

「生きものだからだめ。」だと言われたからハムスターポイント、というチェック表を作りました。毎日自分で、こうどうしてポイントをつけて家ぞくにもひょうかをしてもらいました。図書しつで本をかりて、ハムスターのことをいろいろべんきょうしてノートにまとめました。わたしが、がんばるすがたを見て、これならおせわができそうだと思ってかってくれたそうです。

おせわしているのは、おじいちゃんと、わたしと、妹です。お店では、まわし車がなかったけどおうちにきてからまわし車にのってまわせるようになりました。すごいと思いました。

おじいちゃんが、作った地下がたのすばこでかっています。野生のハムスターは、てきからみをまもるために地面にあなをほって生活しているから、地下がたのおうちがあるとあんしんしてねむれてけんこうにそだつそうです。

あつかったりさむかったりするとかわいそうだからクーラーのような物がついています。

ひまわりのたねとペレットだけではなく、キャベツ、ニンジン、トマト、たいたごはんもあげます。キャベツやニンジンをもあげても次の日には、キャベツやニンジンがなくなっているので、びっくりしました。

おじいちゃんが、まんぼけいをかいぞうしてまわし車のまわった数が数えられるようになりました。七月二十四日は、二千八百九十三回で、八月八日は一万二千九百九十九回ぐらいました。体力がついてきました。

新しい家ぞくがふえてうれしいです。長生きしてほしいです。大切にそだててびょうきにもまけない子になってほしいです。たくさん思いでを作っていきたいと思います。